







手加減したから
潰れなかったけど
本気で体重
かけてたら
一瞬で
ぺちゃんこ
だったね♡

ざーんねん♡



落ちたら
助からない
かも...

キュ

オ

オ

オ

オ

オ

あ

えんは

どう?
これ

ちっちゃく
なれる?

えー?

むっ
無理っ

落ちる!

ジ
バ

バ

しゅる

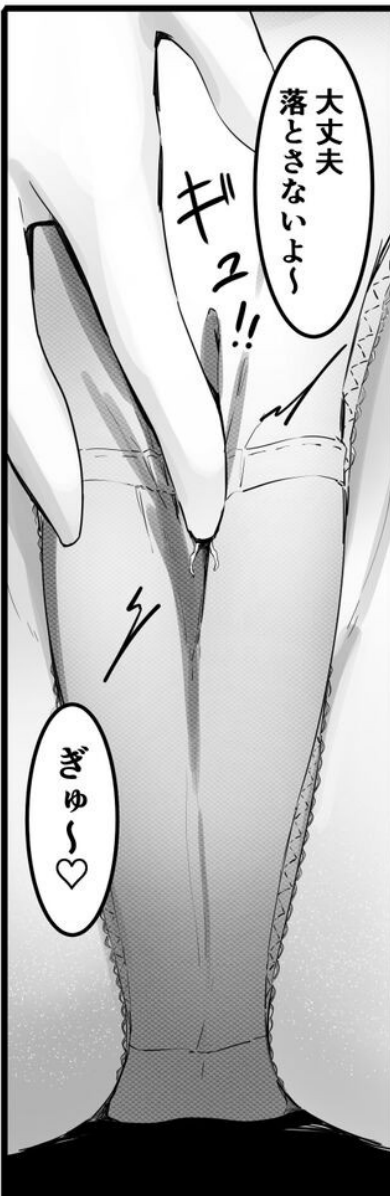
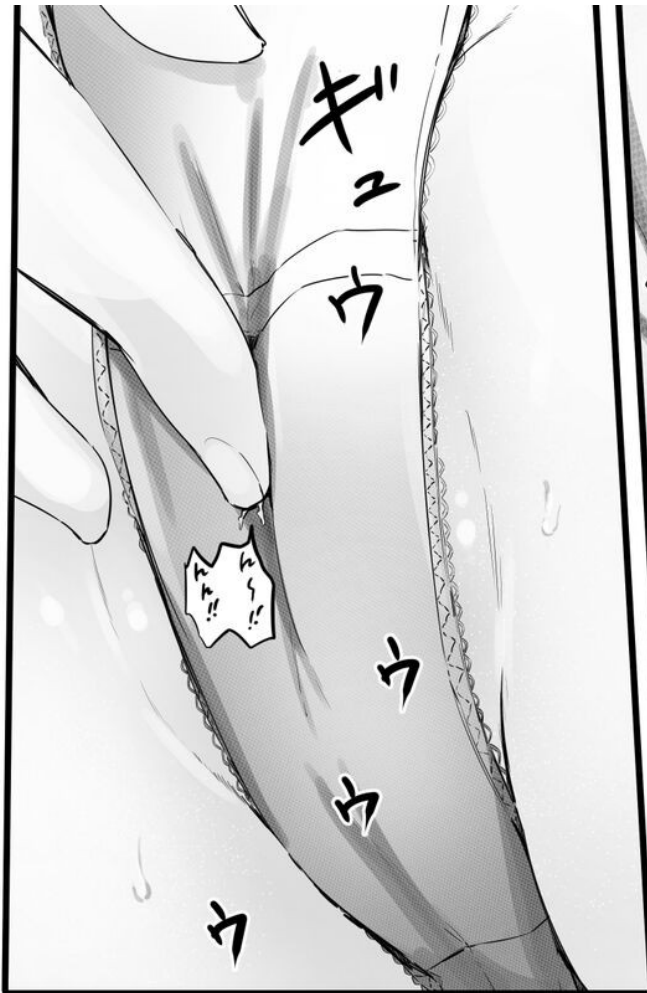
はみ

しゅる

体はどんどん
縮んでく...

けどっ

しょうが
ないな





潰さない
程度に...
もっと
強く...

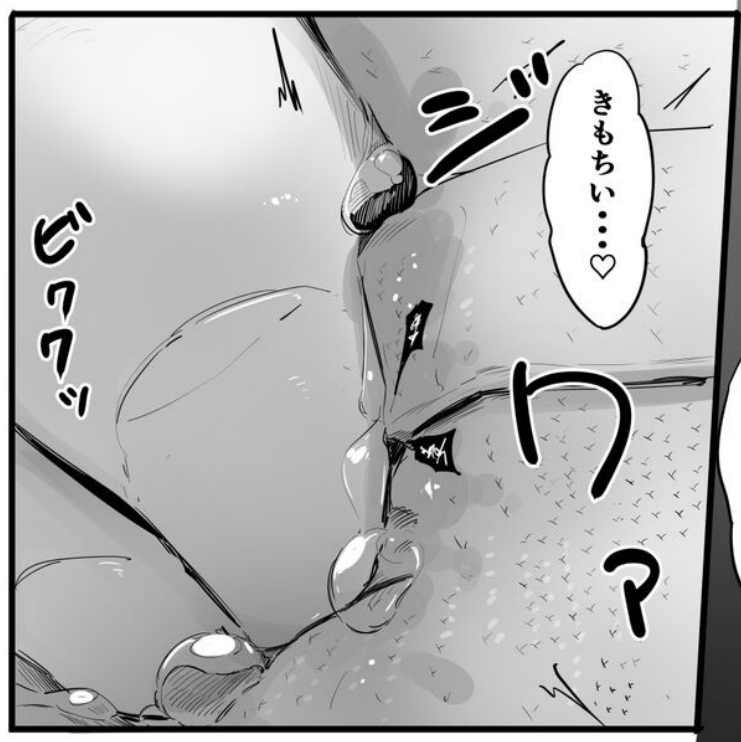


ちっちゃく
なっちゃえ♡

あはあ♡



あっ
クリ○リスに
当たって...!!



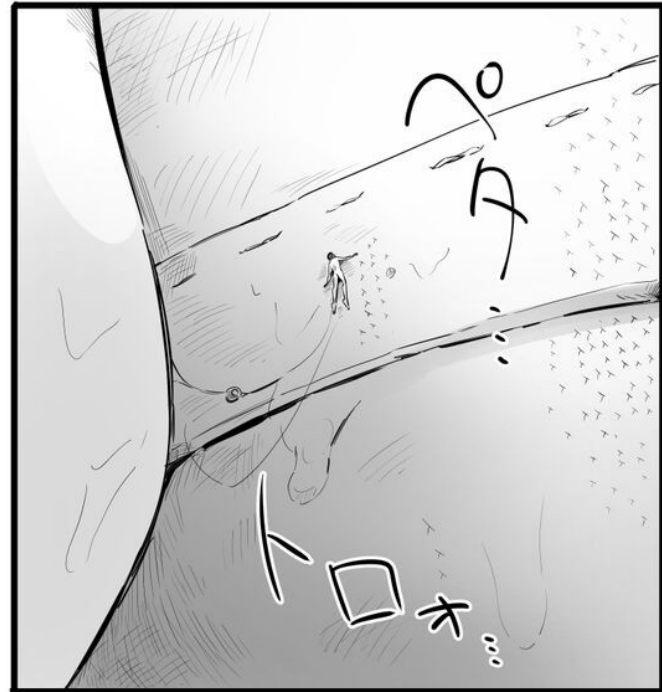
きもちい...♡



たのしい♡

指先ひとつで
蹂躞して

そして
更に縮んで♡





今の
僕は…

何もかも
生物としての
差が開きすぎて



幼いころから
ずっと一緒だった
沙耶の…

股間に
張り付く虫

小

中

高



こうして
張り付いている
だけで
僕の全ては
支配されてる



かわいいね♡



重さも何も
感じないから
君がそこに
居るって事
忘れそう♡



さや
は
こんな虫
みたいなの…

これから更に
小さくなってく
僕を自分の
ショーツに付けて
喜んでる

なんだろう
この気持ち…

もっと…



この背徳的な
行為さえ
小さすぎて
気付かれない



もっともっと
小さくなってね♡



もっと
支配されたい……！



さっきよりも
体は縮んで

すでに
虫以下



きもちいい……



たとえ
気付かれても
布の持ち主には
どうでもいい程
些細な事

もし
元に戻れなくても

さ
沙耶が自分を
思ってくれるなら
ずっと微生物でも
いいのかも

